

## 第16回 地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会欠席委員の意見

<23年度評価について> ※ページ数は資料2-1に対応

(評価点数については、自己評価から異論ありません)

- 西市民病院の救急も大変充実しているし、前進していこうという事を年々感じる。医師が増えていること、患者も増えていること、努力によって目に見えて良くなっていることを感じる【全体意見】
- 中央市民病院の救急医療に関して、新病院になってスペースも広くなり設備も充実しているが、具体的にどのような効果が出ている(活用されている)のかによって評価ができるのではないかと。今後さらに注目していきたい【P1 救急医療】
- 出産において中央市民病院のハイリスク分娩件数が増加しているが、母体救命に関して神戸の中核を担っていると思われ評価できる。分娩機関からみても頼りになる存在であることが伺える【P1 小児・周産期医療】
- 医療事故は起きないほうがいいが、なかなかゼロには出来ないのが医療。問われるのは日頃の安全対策がなされているかどうかではないか。一生懸命治療している中で発生し、原因の調査・分析が院内でもなされ、患者家族の納得が得られるように説明し事後処理をきちりとしていけば「3」でいいと思う。事故を減らし、医療安全対策を講じるために欠かせないのがインシデントレポートの提出と分析作業と考える。評価委員会で評価を下げることは職員の萎縮に繋がることだと思うので、事故が起こったというだけで下げるのは良くない【P3 医療安全対策の徹底】
- クリニカルパスは、種類数だけで判断するものではない。見直しも必要。患者にとってもわかりやすいか、理解につながっているのかということも大事。効果を見ながら更新されていくことでまさに、充実と活用になる【P4 クリニカルパスの充実と活用】